

TOWISE

CAMBAS⁺ データ移行手順書

目次

1. はじめに.....	2
1.1. データ移行概要	2
1.2. CMBAS ⁺ データを抽出する2つの方法	2
1.3. CMBAS ⁺ データ抽出ツールのセットアップについて	2
1.4. CMBAS ⁺ データ抽出ツールのインストール	3
2. CMBAS ⁺ データ抽出ツールを使った抽出手順.....	6
2.1. CMBAS ⁺ データ抽出ツールの起動	6
2.2. 対象データ形式の選択	7
2.3. 抽出対象データの選択（キャビネットデータ）	8
2.4. 抽出対象データの選択（バックアップデータ）	9
2.5. 抽出先の指定 ～ データ抽出終了	10
2.6. 前回から継続して抽出	14
2.7. 抽出済みデータの確認と削除	15
3. CADiOS ⁺ データキャビネットからの抽出手順.....	16
3.1. データキャビネット上データの抽出	16
3.2. バックアップデータの抽出	19
3.3. 抽出したデータの確認と削除	19
4. データ呼び出し手順.....	20
4.1. TOWISE DataCabinet にデータを呼び出す	20
4.2. 図面データを変換する	23
4.3. 手簿データを呼び出す	24
4.4. その他ファイルについて	25
5. その他のデータの取り込み手順.....	26
5.1. パーツデータの取り込み	26
5.2. 求積表データの取り込み	27
6. CMBAS ⁺ データ抽出項目及び制限事項.....	28

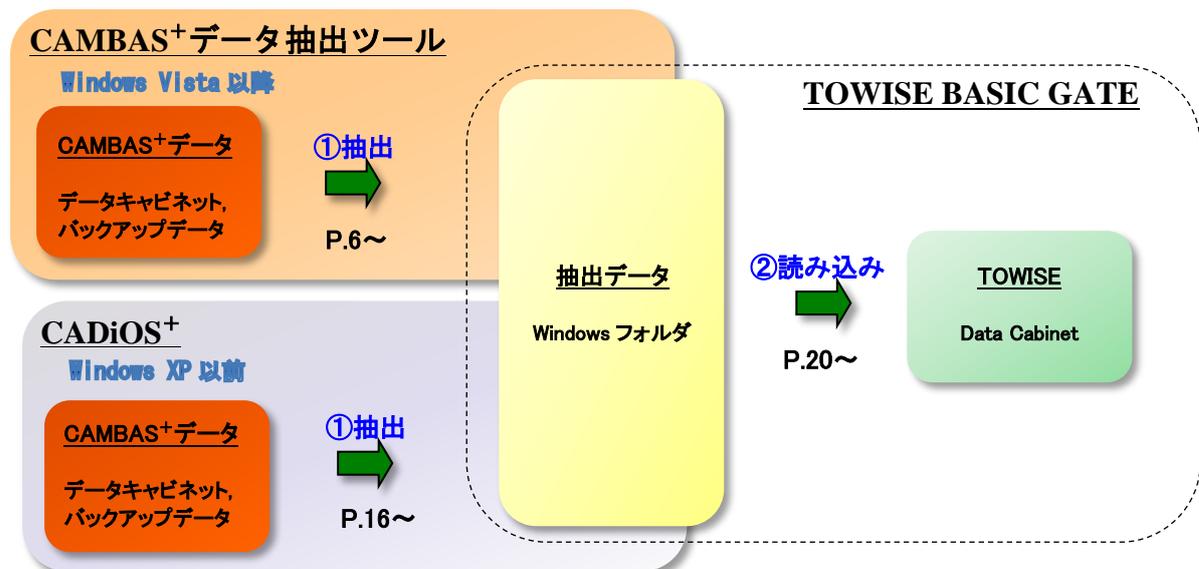
1. はじめに

本書では、CMBAS+のデータを TOWISE へ移行する為の手順について、データ移行の概要と CMBAS+データ抽出ツールのインストール手順を交えてご説明します。

1.1. データ移行概要

CMBAS+データの移行は、大きく 2 つの工程に分かれています。

- ① CMBAS+データの抽出 (CMBAS+データ抽出ツールまたは CADiOS+にて)
- ② 抽出データの読み込み (TOWISEにて)



1.2. CMBAS+データを抽出する 2 つの方法

CMBAS+データの抽出は、CMBAS+データ抽出ツールを使う方法と、CADiOS+のデータキャビネットから行う方法の 2 通りがあります。抽出を実行するコンピュータの OS により方法が決定します。

Windows Vista 以降	CMBAS+データ抽出ツールをご利用下さい。(続けてご参照下さい)
Windows XP 以前	CADiOS+をご利用下さい。(P.16~) ※WindowsXP はマイクロソフトのサポートも終了しているため、CMBAS+データ抽出ツールの利用は推奨しません。

CMBAS+データ抽出ツールは、CADiOS+にはない便利な機能を多数備えています。Windows XP と Windows Vista 以降など両方のコンピュータがある場合は、Windows Vista 以降のコンピュータを使い、CMBAS+データ抽出ツールをご利用することをお勧めいたします。

1.3. CMBAS+データ抽出ツールのセットアップについて

Windows Vista 以降のコンピュータの場合は、CMBAS+データ抽出ツールをインストールする必要があります。インストールするためのセットアップは、弊社ホームページよりダウンロードして下さい。

1.4. CMBAS+データ抽出ツールのインストール

動作環境

OS	Windows8/8.1, Windows7 SP1, Windows Vista SP2
CPU	各 OS が推奨するスペック以上
必要メモリー	各 OS が推奨するスペック以上
必要 HD 空き容量	CADiOS+をインストールしている場合： 10MB CADiOS+をインストールしていない場合： 300MB ※実際の抽出時には、抽出先・作業用ドライブに十分な空きが必要です。

※64 ビット OS は、Windows8/8.1, Windows7 のみの動作保障になります。

また、64 ビット OS では、32 ビット互換モード(WOW64)での動作になります。

※Windows8/8.1 ではデスクトップ環境で動作します。

※WindowsXP はマイクロソフトサポートも終了しており、利用は推奨致しません。

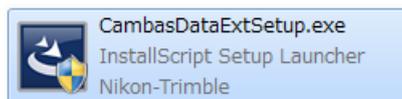
標準ユーザー権限での利用について

- ◆ インストールには管理者権限が必要です。
- ◆ 標準ユーザー権限での利用は、Windows7 移行の動作保障になります。

データのバックアップについて

ツールのインストールやアンインストール、データの抽出では、データが削除されることはありませんが、万に備え、インストールの前にはデータをバックアップすることをお勧めします。

CMBAS+データ抽出ツールのセットアップ



ホームページよりダウンロードしたセットアップモジュールをダブルクリックして実行します。



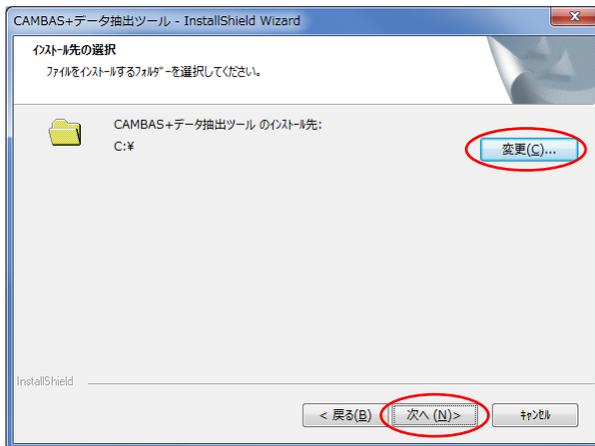
プログラムによるコンピュータへの変更許可を確認するメッセージが表示される場合は「はい」を選択して下さい。

(1) インストールの開始



インストールが開始します。以降、画面の内容を確認しながら「次へ(N)」をクリックします。

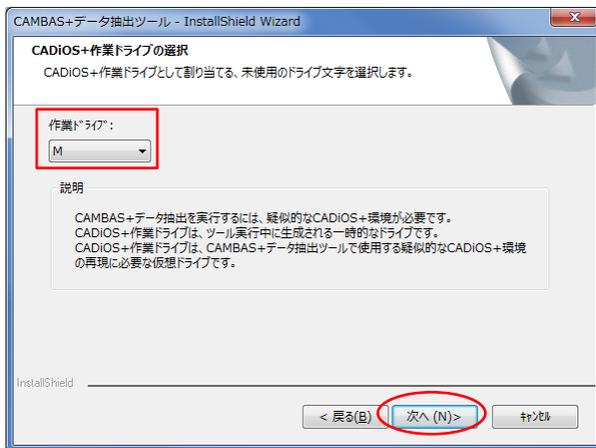
(2) インストール先の選択



CMBAS+データ抽出ツールのインストール先ドライブを指定します。(フォルダ指定により、そのフォルダのルートドライブを指定します)

CADiOS+がコンピュータにインストールされている場合、このページはスキップされます。

(3) 作業ドライブの選択

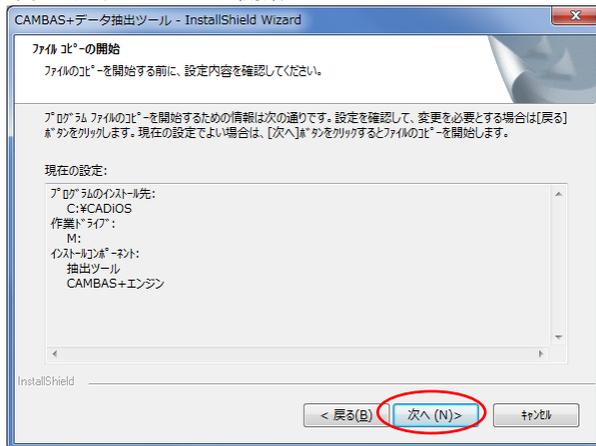


CMBAS+データの抽出タスクが使用する作業用ドライブのドライブ文字を選択します。

作業ドライブは抽出実行中に生成される一時的なドライブです。普段使っていないドライブのドライブ文字を選択して下さい。

CADiOS+がコンピュータにインストールされている場合、このページはスキップされます。

(4) ファイルコピーの開始



インストール内容を確認します。

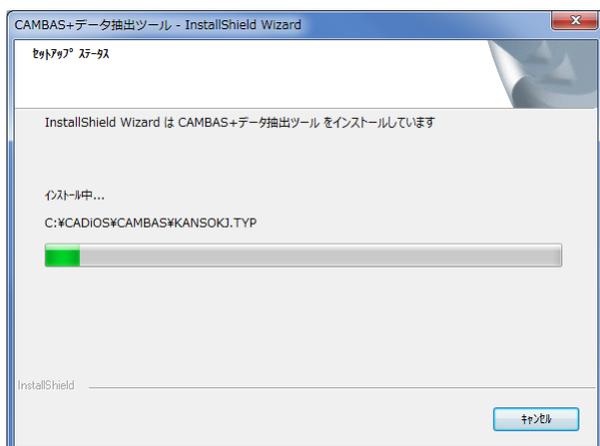
次へ(N)をクリックするとファイルのコピーを開始します。

CADiOS+がコンピュータにインストールされている場合、抽出ツールのみがインストールされ、CMBAS+エンジンはインストールされません。

CMBAS+エンジン

CMBAS+データの抽出に特化した、Windows Vista以降でも動作可能な実行環境です。CMBAS+エンジンは作業記録の抽出に購入情報の影響を受けません。

(5) セットアップ中

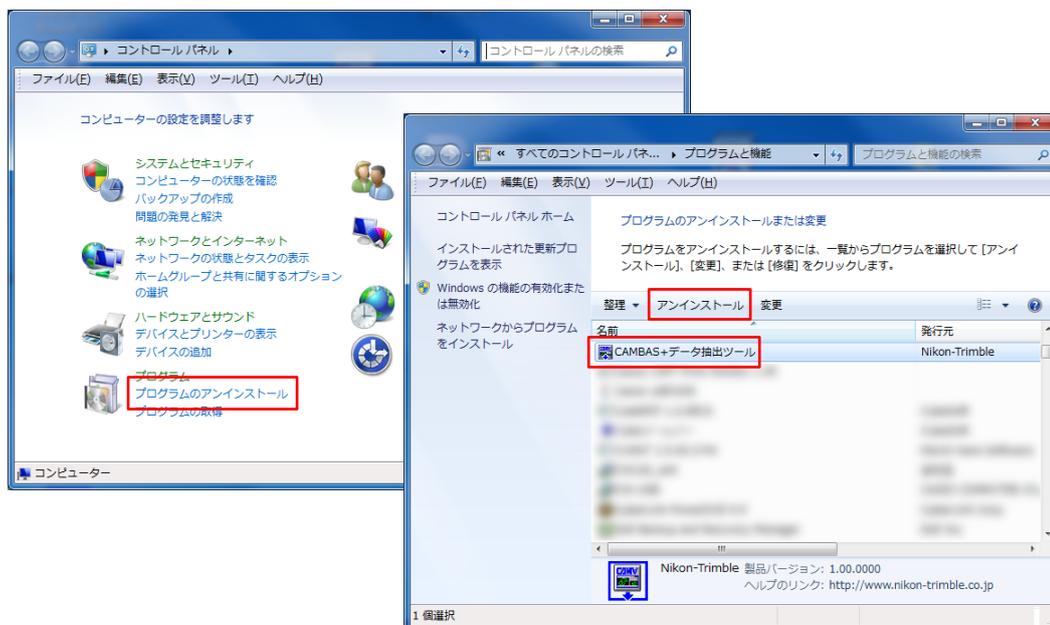


セットアップの進捗が表示されます。
しばらくお待ちください。

完了ページが表示されればインストール完了です。

CMBAS+データ抽出ツールのアンインストール

アンインストールはコントロールパネルのプログラムと機能より行います。
[スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール]をクリックして下さい。
「CMBAS+データ抽出ツール」を選択し[アンインストール]をクリックします。



2. CAMBAS⁺データ抽出ツールを使った抽出手順

CAMBAS⁺データ抽出ツールは、デスクトップショートカットや、スタートメニューから起動することができます。また、TOWISE Ver. 5.3.2.0以降をインストールしている環境では、TOWISE DataCabinet のメニューから起動することもできます。

2.1. CAMBAS⁺データ抽出ツールの起動

CAMBAS⁺データ抽出ツールインストールにより

デスクトップのショートカットから起動する

[CAMBAS⁺データ抽出ツール]



スタートメニューから起動する

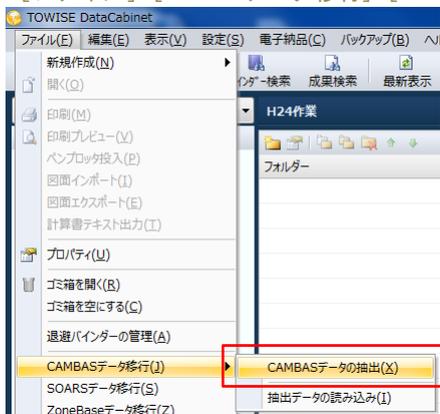
[スタート]-[すべてのプログラム]-[ニコン・トリンブル]-[CADiOS⁺]-[CAMBAS⁺データ抽出ツール]



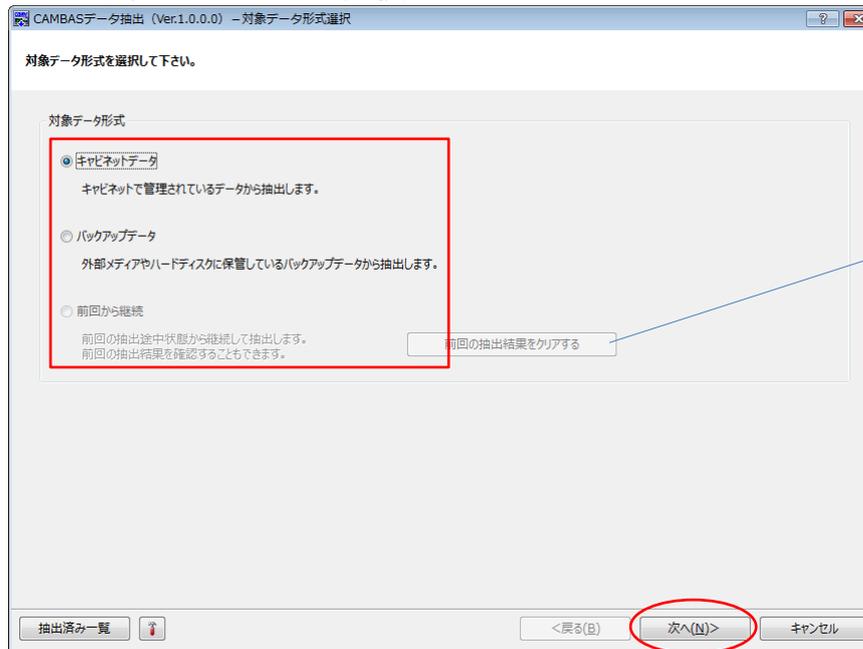
TOWISE Ver. 5.3.2.0以降インストールにより

TOWISE DataCabinet のメニューから起動する

[ファイル]-[CAMBAS データ移行]-[CAMBAS データの抽出]



2.2. 対象データ形式の選択



前回の抽出結果をクリアすると、作業ドライブの空き容量を増やすことができます。

作業ドライブについては、P.11 **動作オプションについて** を参照して下さい。

対象データ形式

形式	データ	説明
キャビネットデータ	GEOID キャビネットデータ GEO-NET キャビネットデータ	キャビネットで管理されているデータから抽出する場合はこのオプションを選択します。 キャビネットのフォルダを外部メディア等にコピーしたような場合もこちらから抽出できます。
バックアップデータ	HD 書き出しデータ 書き出しデータ GX データ交換データ	外部メディアや外付けのハードディスクなどにバックアップしたデータから抽出する場合はこのオプションを選択します。
前回から継続	前回の選択データ	前回の抽出で、途中で中止していた場合に、その続きから抽出する場合はこのオプションを選択します。

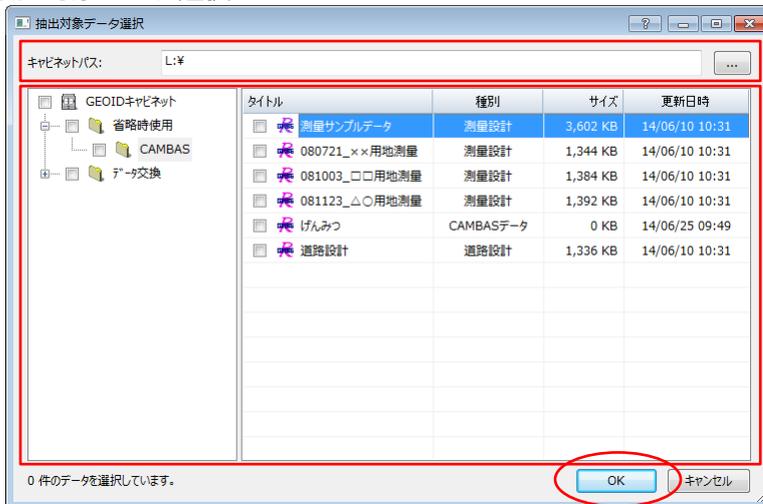
1. 対象データ形式を選択し、「次へ」をクリックします。

「キャビネットデータ」を選択した場合は、 **2.3. 抽出対象データの選択 (キャビネットデータ)** より参照して下さい。

「バックアップデータ」を選択した場合は、 **2.4. 抽出対象データの選択 (バックアップデータ)** より参照して下さい。

「前回から継続」を選択した場合は、 **2.6. 前回から継続して抽出** を参照して下さい。

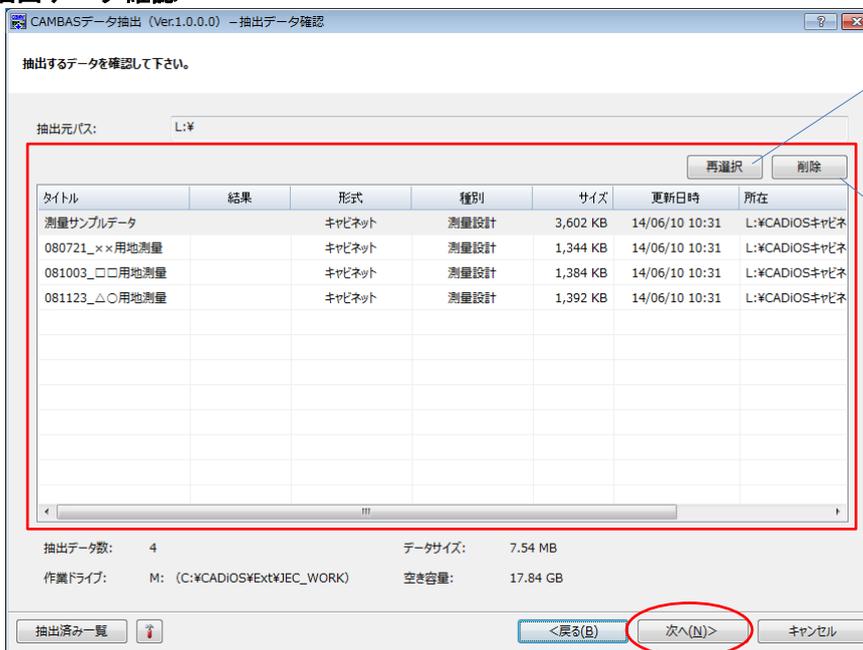
2.3. 抽出対象データの選択 (キャビネットデータ) 抽出対象データ選択



ツリーのポップアップメニューには、データの子要素を選択する際に便利な機能をご用意しています。

1. キャビネットデータを格納しているパスを入力します。
CABINET フォルダの親フォルダパスを入力します。(CABINET を含めずに入力します)
2. 抽出するデータのチェックをオンにして「OK」をクリックします。
キャビネットやフォルダ、CMBAS+データなど複数の種類のチェックを同時にオンにすることはできません。(一度に抽出できるのは一種類のみです)

抽出データ確認



選択データを追加する場合は「再選択」をクリックして下さい。

不要なデータがある場合は「削除」をクリックしてリストから除去できます。

次へ移行する際に作業ドライブの空き容量をチェックします。

作業ドライブが OS ドライブの場合は、必要サイズ+300MBの空き容量が必要です。

1. 抽出するデータを確認し、「次へ」をクリックします。

続きは、 **2.5. 抽出先の指定 ~ データ抽出終了** のページへ移動して下さい。

2.4. 抽出対象データの選択 (バックアップデータ)

抽出対象データ選択

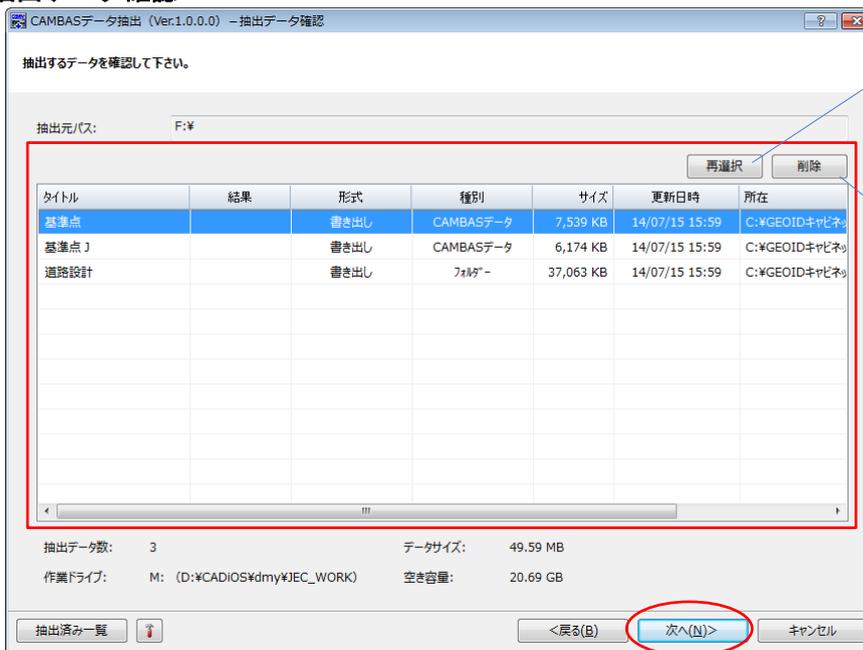


形式

- **書き出し**
データキャビネットで書き出しにより書き出したデータです。
Ex) CAB10001
- **HD 書き出し**
データキャビネットで HD 書き出しにより書き出したデータです。
Ex) HBK00000
- **GX データ交換**
CMBAS+で GX データ交換により書き出したデータです。
Ex) 00000001.ROM

1. バックアップデータを格納しているパスを入力します。
2. 抽出するデータのチェックをオンにして「OK」をクリックします。

抽出データ確認



選択データを追加する場合は「再選択」をクリックして下さい。

不要なデータがある場合は「削除」をクリックしてリストから除去できます。

次へ移行する際に作業ドライブの空き容量をチェックします。

作業ドライブが OS ドライブの場合は、必要サイズ+300MBの空き容量が必要です。

1. 抽出するデータを確認し、「次へ」をクリックします。

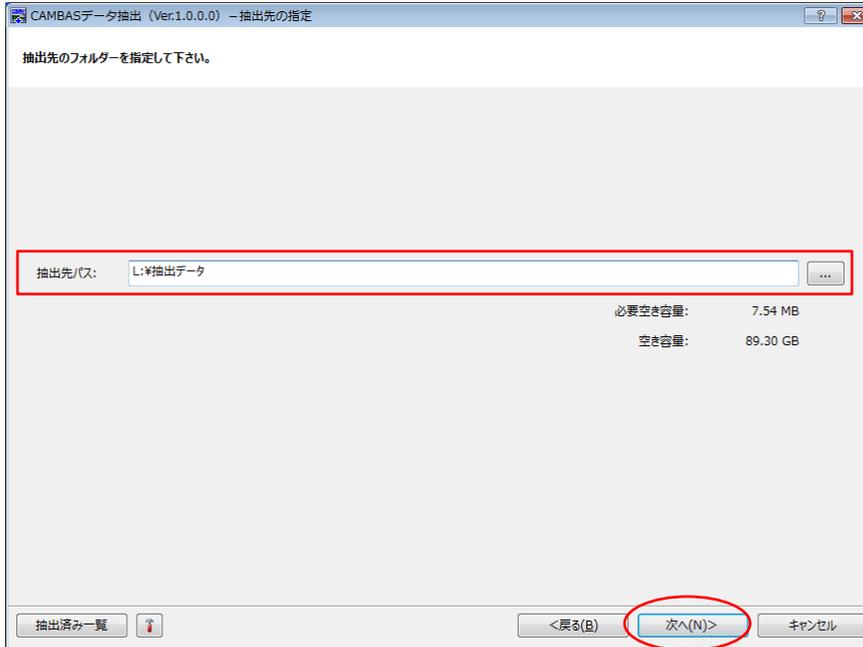
バックアップデータの抽出前復元について

フォルダーや汎用フォルダーのバックアップデータを抽出する場合、抽出を実行する前に一度作業ドライブに復元することで、中に入っている CMBAS データを個別に抽出対象とすることができます。



2.5. 抽出先の指定 ～ データ抽出終了

抽出先の指定



抽出先に十分な空き容量があることを確認して下さい。

抽出先が OS ドライブの場合は、必要サイズ+300MB の空き容量が必要です。

1. データの抽出先を任意フォルダから指定し、「次へ」をクリックします。

抽出オプション設定



1. 抽出オプション、抽出モードを選択します。
内容は次ページを参照して下さい。
2. 「抽出開始」をクリックすると抽出処理を開始します。

抽出オプション

項目	説明
各種計算条件を抽出する	
測量数値データを抽出する	座標や画地のデータはこのオプションで抽出されます。
観測データを抽出する	観測手簿のデータはこのオプションで抽出されます。
作業記録インプットリストを抽出する	
画地の記録を除外する	測量数値データで抽出される画地と三斜のインプットリストの抽出を省略します。
観測手簿の記録を除外する	観測データで抽出される各種手簿のインプットリストの抽出を省略します。
成果図面／計算書を抽出する	
ラスターをコピーする	図面に貼られたラスターを同時に抽出します。

ラスターファイルについて



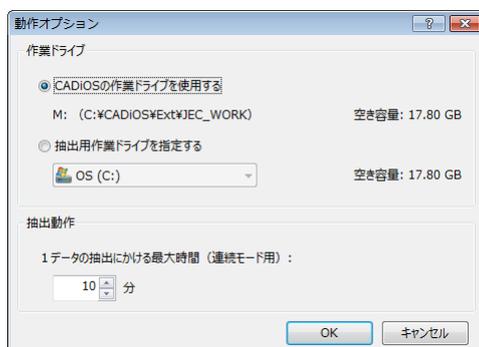
ラスターを図面に貼り付けると、図面内ではラスターファイルのパスを絶対パスで記憶します。図面に貼り付けたラスターを抽出でコピーするためには、その絶対パスにラスターファイルが存在している必要があります。CADiOS⁺の環境外のデータから抽出する場合は、コンピュータのフォルダ構成の違いから、ラスターファイルを抽出できない場合がありますのでご注意ください。

抽出モード

モード	説明
通常モード	オペレーターが抽出処理と結果を確認しながら実行する場合に適したモードです。エラーメッセージなどが表示されます。
連続モード	オペレーター不在の連続運転に適したモードです。以下の状況を検知すると、自動的に次のデータにスキップして停止状態を回避しながら動作します。 (1) エラーを検知した場合 (2) 確認メッセージ等による停止状態を検知した場合 (3) 一定時間内に完了しない場合 スキップしたデータはデータ抽出完了ページ結果列のステータスアイコンで確認することができます。

動作オプションについて

ウィザード下部のハンマーボタンより、このツール全体の動作に関する動作オプションを表示できます。



● 作業ドライブ

バックアップデータの一時的な復元などに利用するドライブを指定します。

抽出データ確認ページから抽出先の指定ページへ移る際に作業ドライブの空き容量不足のメッセージが表示される場合は、空き容量のある既存ドライブに作業ドライブを変更して下さい。

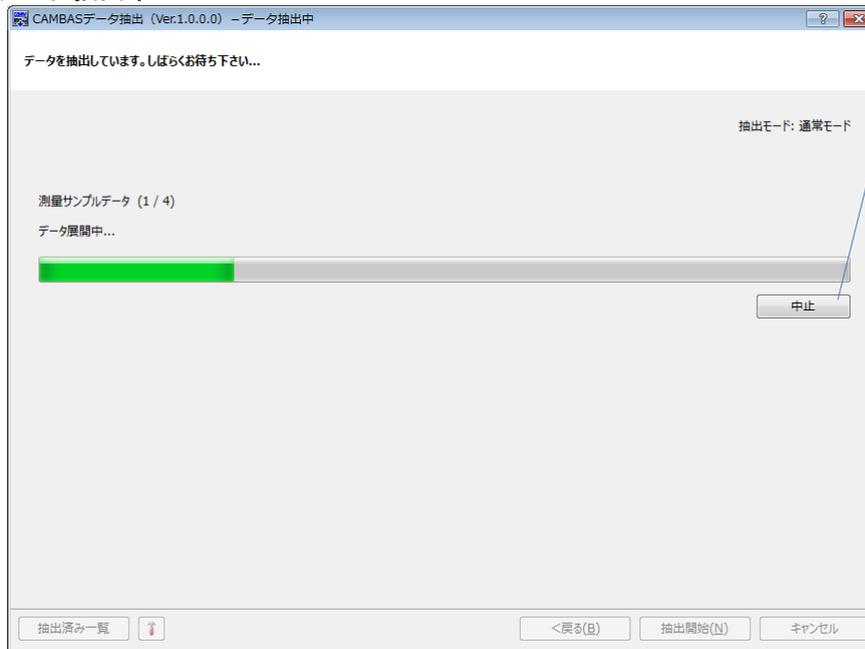
● 1データの抽出にかかる最大時間

抽出モードが連続モードの時に有効なオプションで、10分～60分の間で指定します。

指定の時間が経過してもデータの抽出が完了しない場合はそのデータの抽出を強制終了して次のデータにスキップします。

連続モードで抽出した際の抽出結果に「時間切れ」と表示される場合は、この数値を大きくして下さい。

データ抽出中



抽出処理を中止する
場合にクリックしま
す。

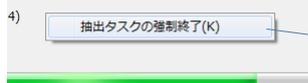
1. 処理が終わると自動的に次のデータ抽出終了ページへ移ります。

抽出エラーについて



強制終了の実行

CAMBAS+データが破損している場合、抽出中にエラーが発生する場合があります。このようなデータは抽出することができません。抽出モードが連続モードの場合は、エラーを検知して自動的に強制終了し、次のデータへスキップします。通常モードの場合は、手動で抽出タスクを強制終了して下さい。



データ抽出中ページ上で
ポップアップメニューを表示し
て実行します。



データロックの解除

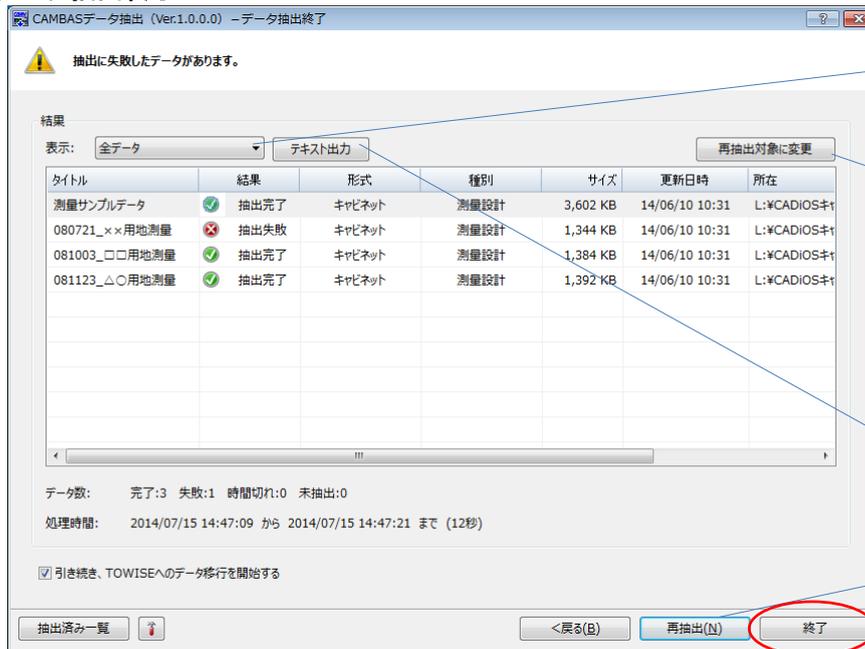
抽出元データが GEOID キャビネットや GEO-NET キャビネット内のデータの場合、強制終了するとデータはロックされた状態となります。CAMBAS+で再度開きなおすか、データキャビネットで「ロック状態の強制解除」を実行することでロックを解除できます。



抽出エラーの回避

CAMBAS+データ破損によるエラーが発生する場合、そのデータを CAMBAS+で開き、データ値を再入力するか、縦横断観測データであれば、道路データ交換を使ってデータの出力⇒削除⇒読み込みを実施することで正常化できる場合があります。それでもエラーが発生する場合、抽出オプションで該当する項目のチェック(縦横断観測データであれば、「観測データを抽出する」)をオフにして抽出することで、エラーデータ以外のデータを抽出できる場合があります。

データ抽出終了



リストに表示する結果をフィルタリングします。

使用中など抽出に失敗したデータを選択して実行すると、選択データの結果をクリアして未抽出とし、「再抽出」をクリックした際の再抽出対象とします。

リストの内容をテキストファイルに出力します。

未抽出のデータについての抽出を再開します。

1. 「終了」をクリックするとツールを終了します。

TOWISE へのデータ移行について

 「引き続き、TOWISE へのデータ移行を開始する」のチェックがオンの場合、起動中の TOWISE DataCabinet へ抽出が完了したデータを通知でき、抽出データの読み込みへスムーズに移行できます。

注意

- ◆ バインダーの作業を開始している場合は通知できません。
- ◆ TOWISE DataCabinet でメッセージやダイアログを表示中は通知できません。
- ◆ 複数のユーザーが同じ抽出先パスに同時に抽出している場合、TOWISE へ抽出したデータを正しく通知できません。

抽出結果

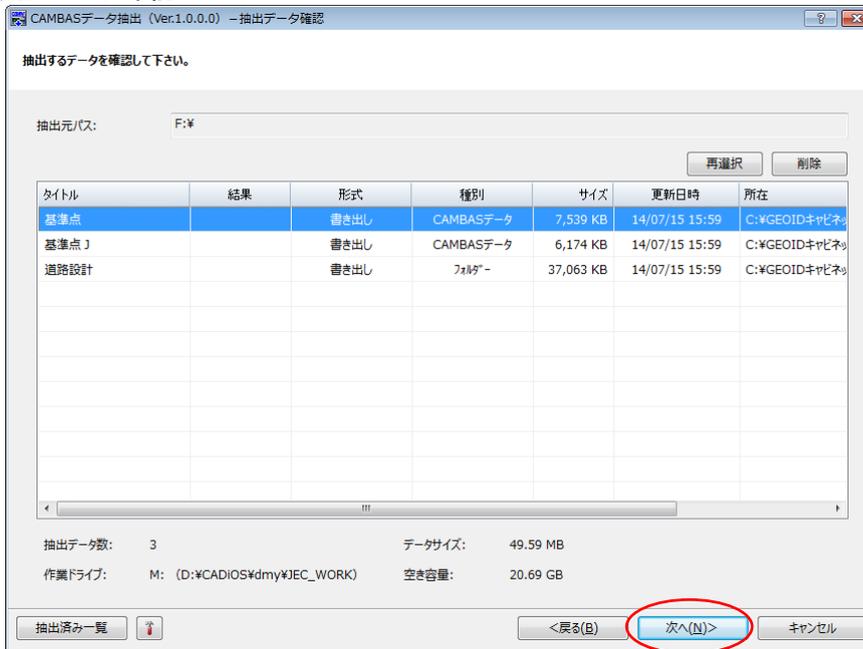
結果	説明	表示	再抽出対象
(空白)	まだ何も処理していないデータです。		
✓ 抽出中止	中止により中断したデータです。	未抽出	○
✓ 展開済み	バックアップからの復元や、作業ドライブへの複写が完了しているデータです。		
✓ 抽出完了	抽出が正常に完了したデータです。	完了	×
✗ 使用中	データキャビネットでロックされているデータです。	失敗	×
✗ 復元失敗	バックアップからの復元に失敗したデータです。		
✗ 複写失敗	作業ドライブへの複写に失敗したデータです。		
✗ 抽出失敗	手で抽出タスクの強制終了したか（通常モード時）、エラーメッセージを検知してスキップしたデータです（連続モード時）。		
✗ 確認待機	エラー以外のメッセージが表示され待機状態となったデータです。（連続モード時のみ）		
✗ 時間切れ	一定時間内に抽出処理を完了できなかったデータです。（連続モード時のみ）		

表示欄はフィルタリングの適応項目です。

2.6. 前回から継続して抽出

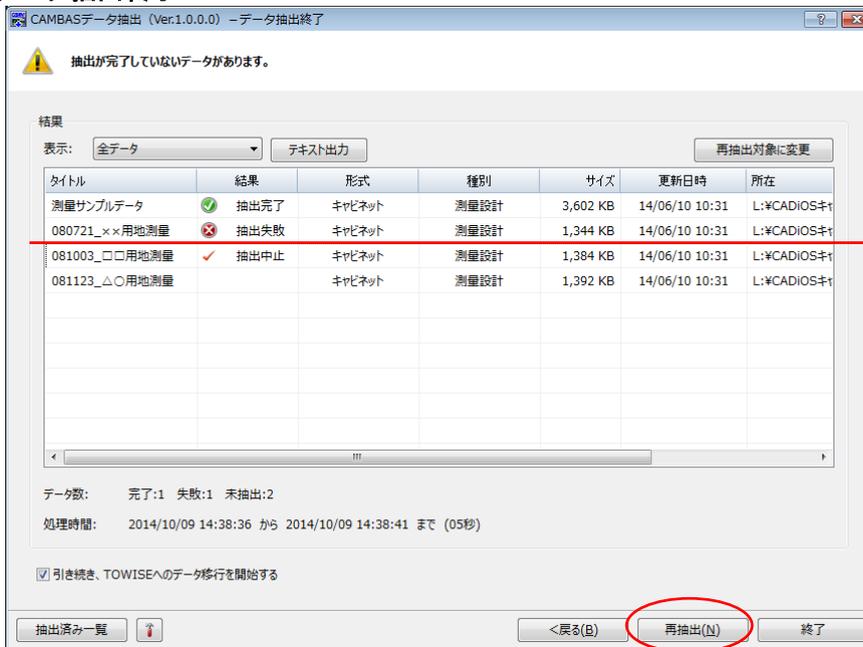
「前回から継続」は前回の抽出が「キャビネットデータ」であっても「バックアップデータ」であってもどちらの形式でも利用できます。前回の抽出で抽出を開始していない場合は**抽出データの確認**ページから、抽出を開始した後であれば**データ抽出終了**ページから始まります。

抽出データ確認



1. 「次へ」をクリックすると抽出先の指定ページへ移ります。(P. 10～)

データ抽出終了



1. 「再抽出」をクリックすると未抽出のデータについて抽出を再開します。

2.7. 抽出済みデータの確認と削除

ウィザード下部の [抽出済み一覧] ボタンより、抽出済みデータの一覧を表示できます。

抽出済みデータ一覧

抽出先パス: L:*抽出データ

削除

タイトル	種別	サイズ	更新日時	抽出日時	データパス
げんみつ	CAMBASデータ	1 KB	14/06/25 09:49	14/07/10 15:23	L:*GEOIDキャビネット*省略時使用*CAM
道路設計	道路設計	1 KB	14/06/10 10:31	14/07/10 15:23	L:*GEOIDキャビネット*データ交換*共通H
地籍管理	地籍管理	1 KB	14/06/10 10:31	14/07/10 15:23	L:*GEOIDキャビネット*データ交換*共通H
地籍管理	地籍管理	1 KB	14/06/10 10:31	14/07/10 15:23	L:*GEOIDキャビネット*データ交換*共通H
造成設計	造成設計	1 KB	14/06/10 10:31	14/07/10 15:23	L:*GEOIDキャビネット*データ交換*共通H
造成設計	造成設計	1 KB	14/06/10 10:31	14/07/10 15:57	L:*GEOIDキャビネット*データ交換*共通H
測量サンプルデータ	測量設計	3 KB	14/06/10 10:31	14/07/15 14:35	L:*CADIOSキャビネット*省略時使用*CAI
081003_□用地測量	測量設計	1 KB	14/06/10 10:31	14/07/15 14:47	L:*CADIOSキャビネット*省略時使用*CAI
081123_△用地測量	測量設計	1 KB	14/06/10 10:31	14/07/15 14:47	L:*CADIOSキャビネット*省略時使用*CAI

9 件

閉じる

不要になった抽出データを削除(抹消)することができます。

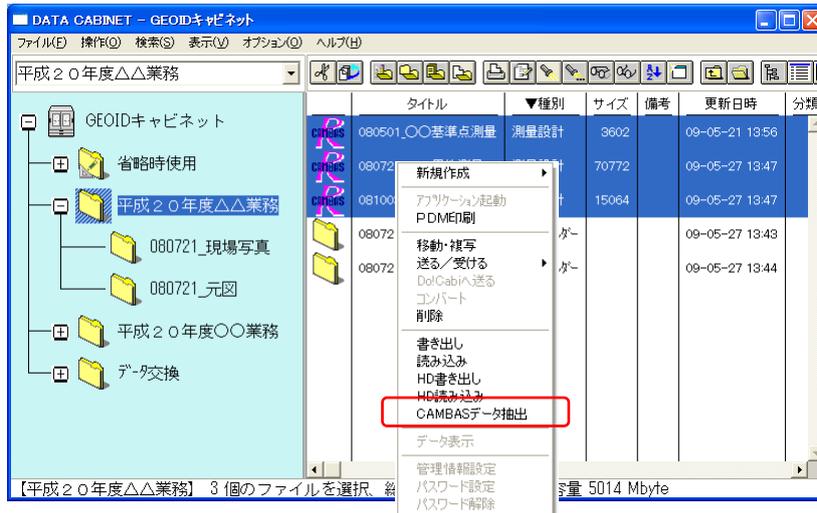
1. 抽出先パスを指定します。

3. CADiOS+データキャビネットからの抽出手順

CADiOS+データキャビネット上の CMBAS+データその他、外部メディア、ハードディスクに保存してあるバックアップデータから抽出することができます。

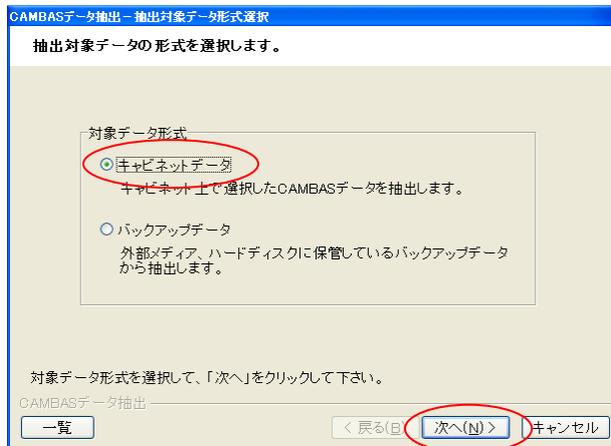
それぞれの抽出手順をご説明します。

3.1. データキャビネット上データの抽出



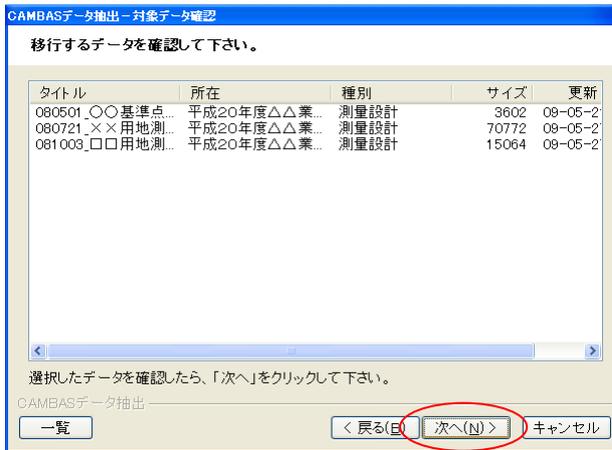
データ抽出機能の実行

データキャビネット上で目的のデータを選択し、ポップアップから「CMBAS データ抽出」をクリックします。フォルダを指定すると、フォルダ内のすべての CMBAS+データを選択することができます。



対象データ形式の選択

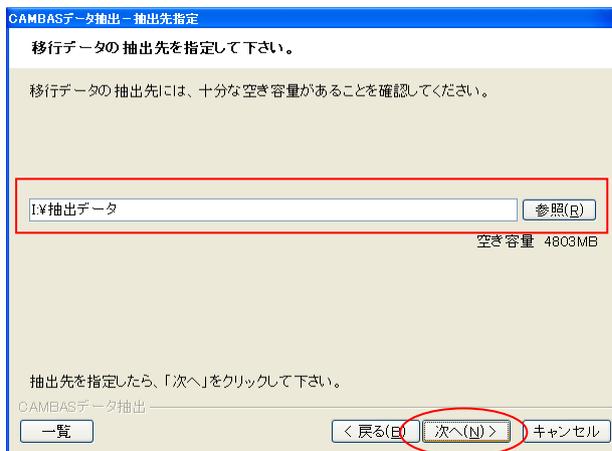
キャビネット上で選択したデータを抽出する場合は、「キャビネットデータ」を選択して、「次へ」をクリックします。



抽出対象データの確認

キャビネットで選択した CAMBAS+データが表示されますので、内容を確認して「次へ」をクリックします。

リスト上ポップアップの「対象から除外」をクリックすると、選択状態のデータを抽出対象から除外することができます。

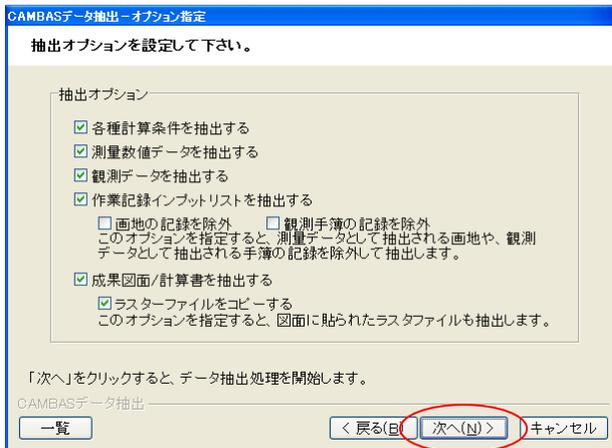


抽出先フォルダの指定

データの抽出先を任意のフォルダから指定し、「次へ」をクリックします。

抽出先のドライブに十分な空き容量があることを確認してください。

抽出データを取りまとめる為の専用フォルダを指定することをお勧めします。



抽出オプションの指定

抽出可能な各項目から選択します。

各抽出項目の内容については、6. CAMBAS+データ抽出項目及び制限事項を参照して下さい。

➤ 画地の記録を除外

作業記録抽出時に、測量データとして抽出される画地と三斜のインプットリストの抽出を省略します。

➤ 観測手簿の記録を除外

作業記録抽出時に、測量データとして抽出される画地と三斜のインプットリストの抽出を省略します。

➤ ラスタファイルをコピーする

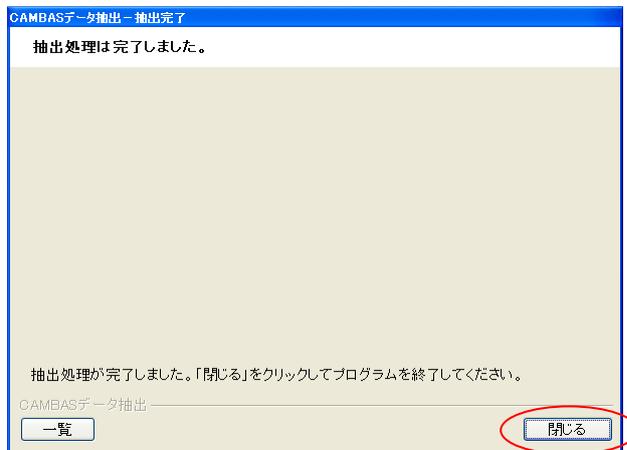
成果バインダー図面時に、図面データに貼られたラスタデータを同時に抽出するかを指定します。

「次へ」をクリックすると抽出処理を開始します。



データ抽出中

抽出の進捗を表示します。
全ての抽出が終わると次のページへ移行します。
途中で中止する場合は「中止」をクリックします。



データ抽出終了

抽出処理が完了したら、「閉じる」をクリックして
終了してください。

3.2. バックアップデータの抽出

バックアップデータから直接 CMBAS+ データを抽出する場合の操作手順は、データキャビネット上のデータの抽出手順と殆ど同じです。ここでは、異なる点だけご説明します。

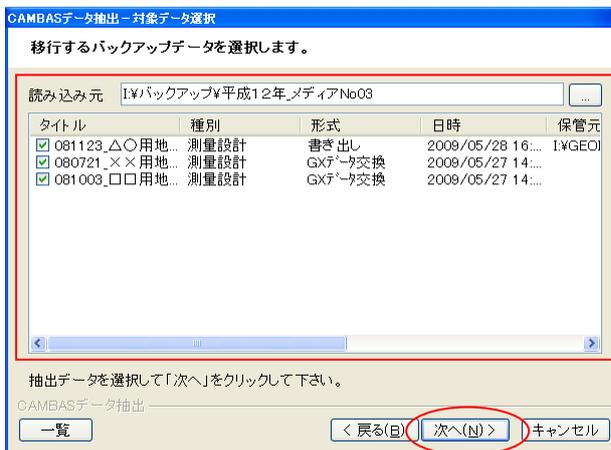


データ抽出機能の実行

データキャビネットのポップアップから「CMBAS+ データ抽出」をクリックして起動します。抽出対象データ形式の選択で、「バックアップデータ」を選択し、「次へ」をクリックします。

❖ バックアップデータ形式

CMBAS+の GX データ交換形式、キャビネット書き出し形式、HD 書き出し形式から抽出することができます。



抽出対象データの選択

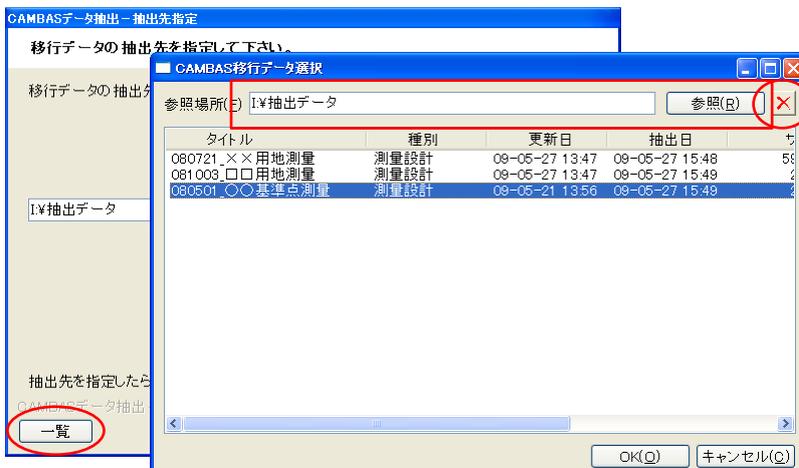
バックアップデータが登録されている場所を指定します。

登録されているバックアップデータが表示されますので、目的のデータを選択し、「次へ」をクリックします。

以降は、「抽出先の指定」・「オプションの指定」と続きます。

3.3. 抽出したデータの確認と削除

ウィザード下部の「一覧」ボタンから、抽出データの確認と削除を行います。



➤ 抽出データの確認

「参照」ボタンをクリックして抽出先のフォルダを指定し、抽出済みのデータの情報を確認することができます。

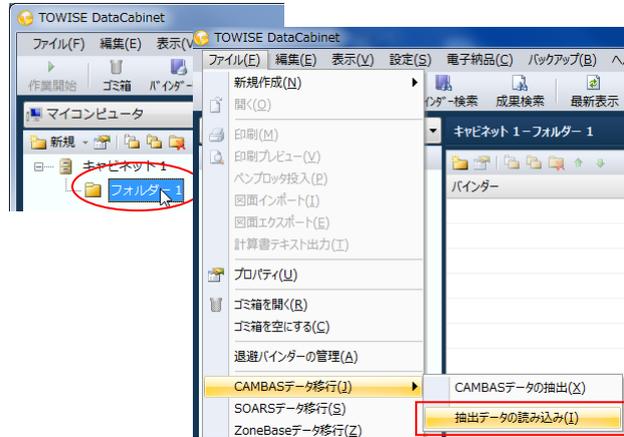
➤ 抽出データの削除

目的のデータを選択し、「参照」ボタン右横の「X」をクリックします。

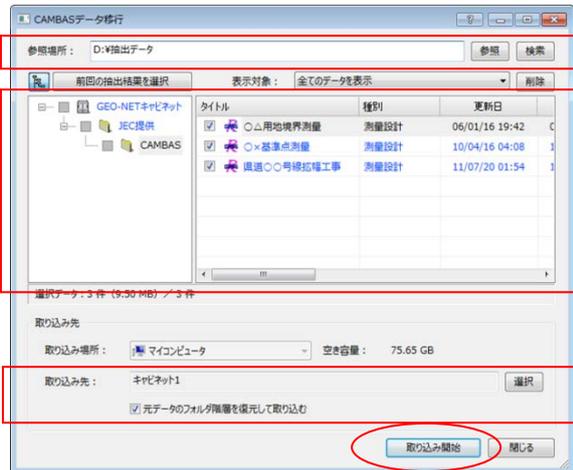
4. データ呼び出し手順

先に抽出した CMBAS+の「抽出データ」を TOWISE で呼び出す方法について説明します。

4.1. TOWISE DataCabinet にデータを呼び出す



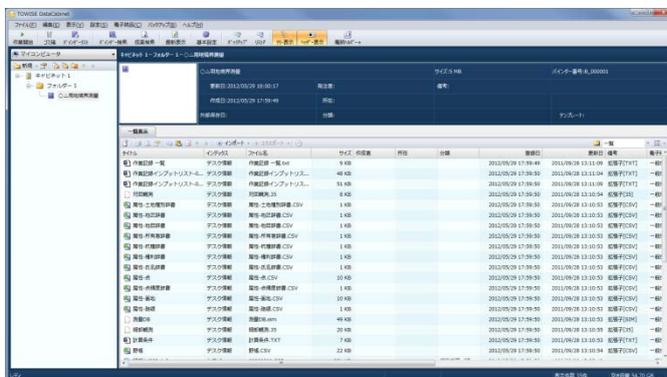
- ① TOWISE DataCabinet を起動します。
- ② 読み込み先のフォルダーを選択します。
※フォルダーを未作成の場合は「新規作成」ボタンより作成します。
- ③ メニューより [ファイル (F)] - [CMBAS データ移行 (J)] - [抽出データの読み込み (I)] を選択します。



- ④ 参照場所を指定します。
※参照ボタンでドライブ及びフォルダを指定します。
※検索ボタンで抽出日、タイトルにより CMBAS+データを含むフォルダを検索できます。詳細については、[P. 21]を参照下さい。

- ⑤ 呼び出すデータにチェックをつけます。
※「前回の抽出結果を選択」をクリックすると、CMBAS+データ抽出ツールで前回抽出したデータを選択します。
※移行データ選択の詳細については、[P. 22]を参照下さい。

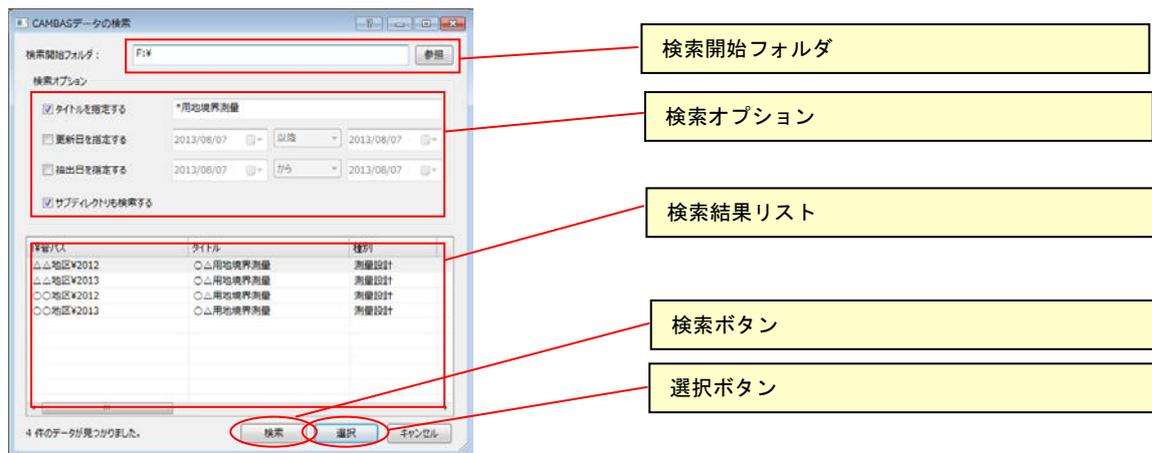
- ⑥ 取り込み先を指定して「取り込み開始」をクリックします。
※取り込み先指定の詳細については、[P. 22]を参照下さい。



- ⑦ データが呼び出され、バインダー形式で登録されます。

❖ 測量数値データはバインダーを開いた時に呼び出されます。

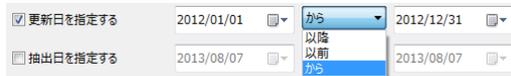
CMBAS+データの検索



- 検索開始フォルダと「サブディレクトリを検索する」オプション
 検索開始フォルダで指定したフォルダ内から CMBAS+データを検索します。「サブディレクトリを検索する」のチェックがオンの場合、検索開始フォルダとそのフォルダに含まれる全てのフォルダから CMBAS+データを検索します。
- 検索オプション（タイトル・更新日・抽出日）
 検索により見つける CMBAS+データのタイトルを指定します。
 タイトルの指定では、「?」や「*」のワイルドカード文字を使用できます。

	意味	例
?	任意の1文字	20??年_作業
*	任意の複数文字 (0文字も可)	〇〇地区_*年作業

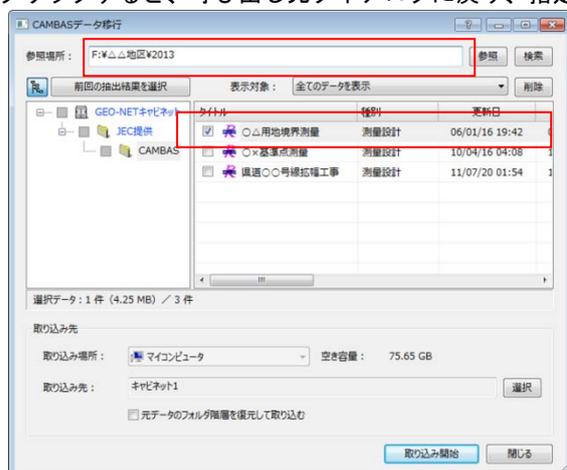
更新日や抽出日では、指定日以降（以降）、指定日以前（以前）、指定範囲（から）より指定します。



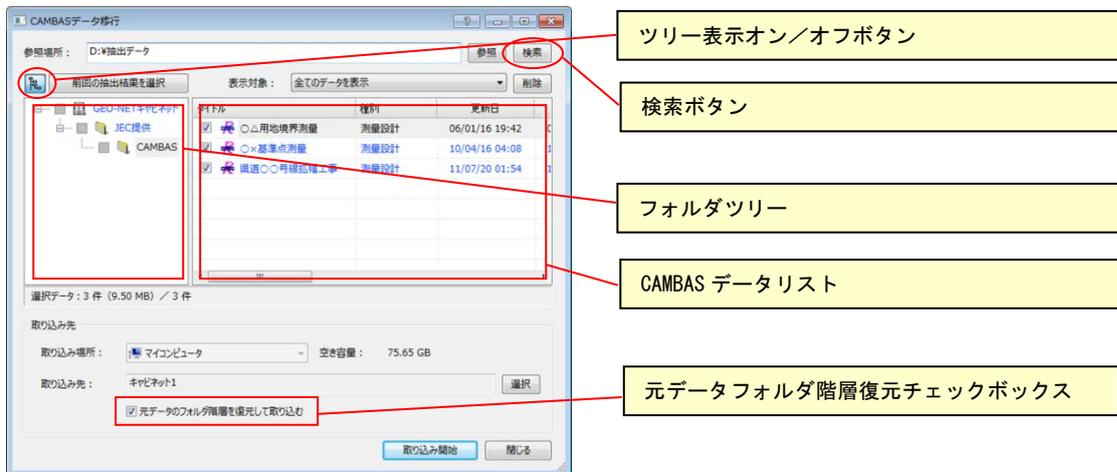
- 検索と選択
 検索をクリックすると検索開始フォルダ内について、指定した検索オプションで検索し、見つかった CMBAS+データを検索結果リストに表示します。
 保管パスには、検索開始フォルダから見つかった CMBAS+データまでのサブフォルダ階層を表示します。

保管パス	タイトル	種別
△△地区*2012	〇△用地境界測量	測量設計
△△地区*2013	〇△用地境界測量	測量設計

検索結果リストから、呼び出し元のダイアログで選択（チェック）するデータを選択し、「選択」ボタンをクリックすると、呼び出し元ダイアログに戻り、指定したデータがチェックされた状態で表示されます。



移行データの選択と取り込み先の指定



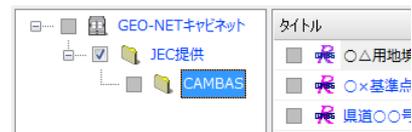
□ ツリー表示オン/オフボタン

フォルダツリーを表示すると、ツリーで選択中のフォルダ内にあるデータのみをCMBAS+データリストに表示します。フォルダツリーを非表示とすると、全てのCMBAS+データを表示します。

□ フォルダツリーとCMBAS+データリスト

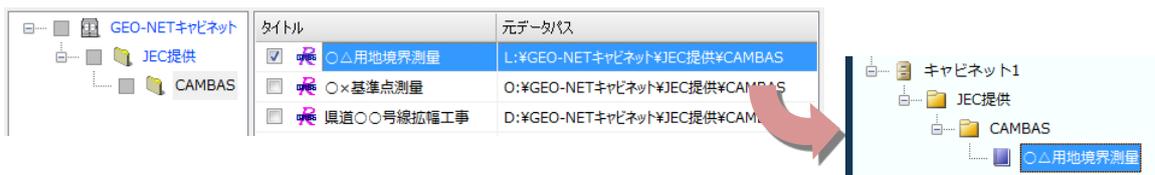
キャビネットまたはフォルダ単位で取り込みデータを指定する場合は、ツリーの該当データのチェックをオンにし、CMBAS+データ単位で指定する場合はリストの該当データのチェックをオンにします。

取り込みデータの指定は、データの種別（キャビネット/フォルダ/CMBAS+データ）を混在させることはできません。（チェックしたフォルダ内のフォルダも指定することはできません）
全てのチェックを解除すると、全てのデータが再びチェックできる状態になります。



□ 元データフォルダ階層復元チェックボックス

「元データのフォルダ階層を復元して取り込む」を指定すると、元データの抽出元データパスの階層を復元した階層を生成し、その中にCMBAS+データを取り込んだバインダーを生成します。

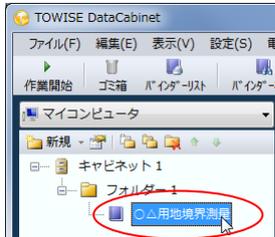


指定しなかった場合、チェックしたデータから下の階層を指定した宛て先内に復元するようにキャビネット、フォルダを生成し、その中にCMBAS+データを取り込んだバインダーを生成します。

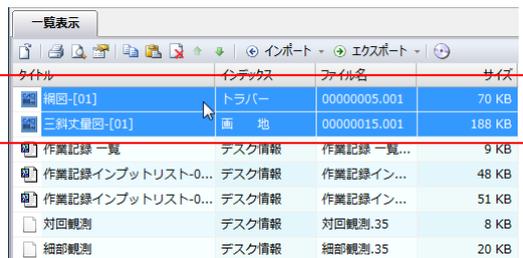


4.2. 図面データを変換する

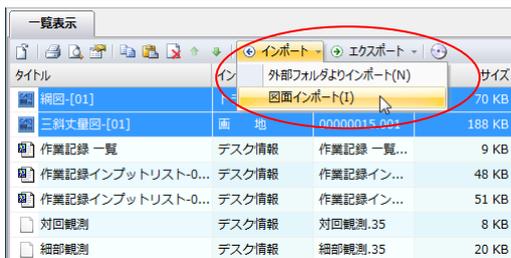
3.1 で登録された図面データは CAD ベースの形式 (* .001) のままバインダーにファイル登録されます。
 ※CAD ベース⁺がインストールされている環境では図面を開くと CAD ベース⁺が起動します。
 以下に登録された図面データを TOWISE のデータに変換する方法を説明します。



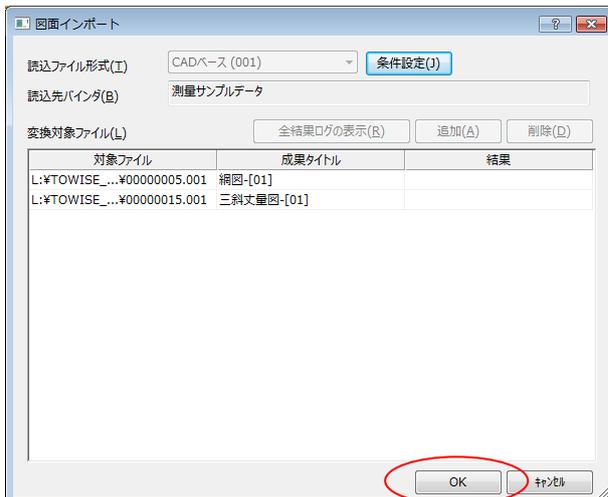
① 対象バインダーを選択します。



② 対象図面データを選択します。



③ ツールバー「インポート」より「図面インポート」をクリックします。
 ※ポップアップより「図面インポート」を実行することもできます。



④ 「OK」をクリックします。

❖ 選択した図面データが TOWISE のデータに変換され、バインダーに登録されます。

4.3. 手簿データを読み出す

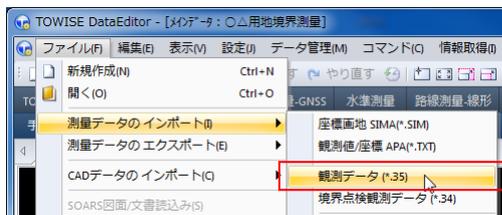
CMBAS+の手簿データは、各種テキストデータ (*.34/*.35/*.57/*.59) としてバインダーにファイル登録されます。

これらを TOWISE の手簿パートデータとして登録する方法を説明します。



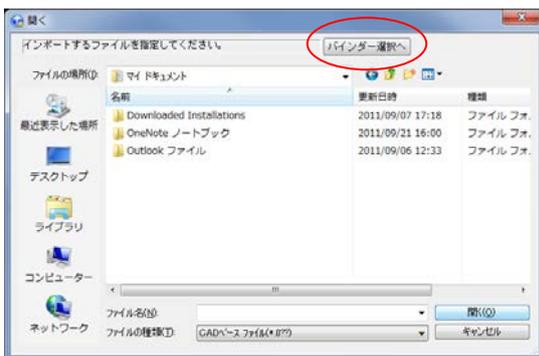
- ① 対象バインダーを選択します。
- ② ツールバーの「作業開始」をクリックします。

❖ TOWISE DataEditor が起動して、測量数値データの読み込みが行われます。

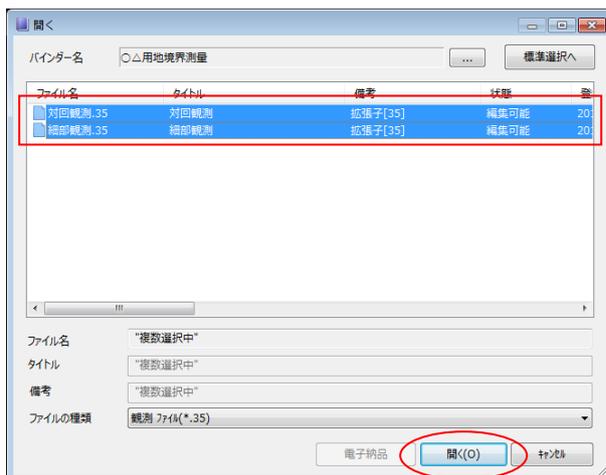


- ③ メニューより[ファイル(F)]-[測量データのインポート(I)]-[観測データ (*.35)]を選択します。

※取り込むファイル形式に対応したコマンドを選択して下さい。



- ④ 「バインダー選択へ」をクリックします。



- ⑤ 取り込むファイルを選択して「開く」をクリックします。

❖ 観測データ受信が実行され、手簿パートデータとして登録されます。

➤ 対象となるファイル

対回観測.35／細部観測手簿.35／基準点観測.35／基準点点検.35 等

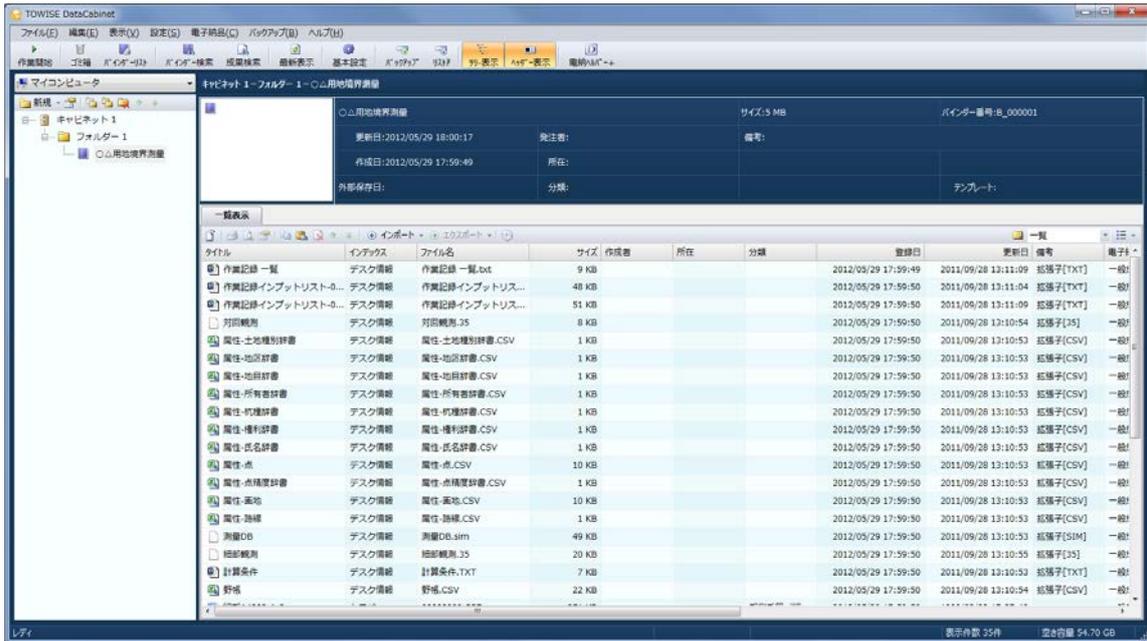
4.4. その他ファイルについて

辞書 DB や計算条件等は、テキストデータとしてバインダーにファイル登録されます。
参照する場合は、メモ帳やエクセル等でファイルを開いてください。

※TOWISE DataEditor で開くと、ファイルの拡張子に割り当てられたアプリケーションが起動します。

➤ 登録されるファイル

属性-土地種別辞書.CSV/属性-地目辞書.CSV/属性-杭種辞書.CSV/属性-権利辞書.CSV/属性-点.CSV/
属性-点精度辞書.CSV/属性-観測網.CSV/計算条件.TXT 等

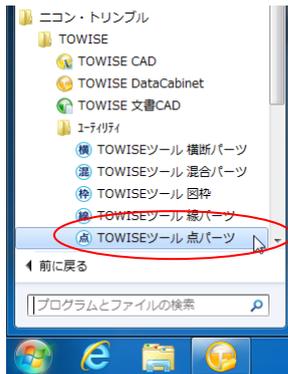


5. その他のデータの取り込み手順

パーツデータや求積表データを TOWISE のデータとして取り込む方法について説明します。

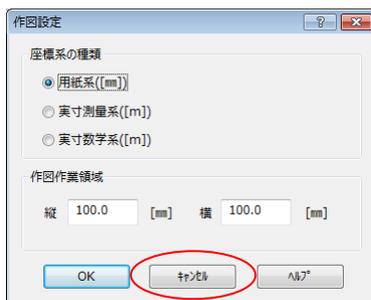
5.1. パーツデータの取り込み

CMBAS⁺のパーツデータは TOWISE では点パーツデータとして扱います。点パーツ作成ツールを使用してパーツデータを点パーツデータに変換する方法を説明します。

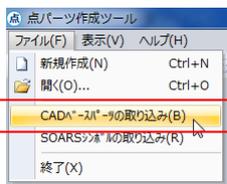


- ① スタートメニューより[すべてのプログラム]－[ニコン・トリンプル]－[TOWISE]－[ユーティリティ]－[TOWISE ツール 点パーツ]を選択します。
※OSの種類により階層は若干異なります。

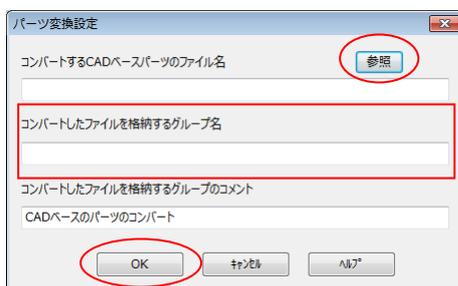
❖ 点パーツ作成ツールが起動します。



- ② 作図設定ダイアログが表示されますが、「キャンセル」を選択します。



- ③ メニューより[ファイル(F)]－[CAD+→点パーツの取り込み(B)]を選択します。



- ④ 「参照」をクリックしてファイル選択ダイアログを表示し、取り込む CMBAS⁺のパーツデータファイルを指定します。

※複数のファイルを指定することもできます。
※異なるコンピュータに取り込む場合は、USBメモリやネットワークフォルダなどを利用して下さい。

- ⑤ ファイルを格納するグループ名を入力します。

- ⑥ 「OK」をクリックします。

❖ ファイルの変換が行われます。

5.2. 求積表データの取り込み

CMBAS+の求積表データは TOWISE では表データとして扱います。表作成ツールを使用して求積表データを表データに変換する方法を説明します。

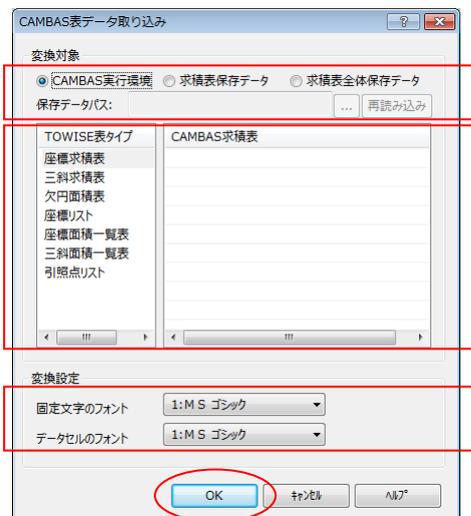


- ① スタートメニューより[すべてのプログラム]－[ニコン・トリンプル]－[TOWISE]－[ユーティリティ]－[TOWISE ツール 表]を選択します。
※OSの種類により階層は若干異なります。

❖ 表作成ツールが起動します。



- ② メニューより[ファイル(F)]－[CMBAS表の取り込み(B)]を選択します。



- ③ 変換対象および保存データパスを選択します。

※CMBAS+求積表登録機能で求積表データを抽出した場合は、抽出したデータを格納しているフォルダを選択します。

- ④ 取り込む CMBAS+求積表データを選択します。

※TOWISE 表タイプを選択すると右に取り込むことができる CMBAS+求積表データの一覧が表示されます。

- ⑤ 各種フォントを選択します。

※固定文字のフォントはタイトルや見出しに、データセルのフォントはデータセルに出力される文字に設定されます。

- ⑥ 「OK」をクリックします。

❖ ファイルの変換が行われます。

➤ 取り込み内容について

- ◆ 表のタイプは、座標求積表、三斜求積表、座標面積一覧表、三斜面積一覧表、座標リスト、引照点リストが取り込み対象になります。
- ◆ データセルは、CMBAS+と TOWISE で一致する場合だけ取り込まれます。

その他、取り込み内容の詳細については、表作成ツールのオンラインヘルプを参照して下さい。

6. CMBAS⁺データ抽出項目及び制限事項

□ CMBAS⁺データ抽出項目

抽出項目		登録形式	制限事項
成果	図面	CAD ベース(001)	測量データとの関連は破棄されます。
	計算書	帳票共通(CSF)	OS/2 形式の計算書は抽出されません。
測量数値	座標	座標DB	
	画地(三斜)・線形路線	各パートデータ	
	点・画地・路線属性	テキスト(各種 CSV)	点属性の一部は座標 DB に登録 画地属性の一部は属性DBに登録
	野帳	野帳DB	
	縦横断現況結線	パートデータ	路線が対象になります。
観測データ	細部観測手簿	テキスト	
	対回観測手簿	テキスト	
	境界点検手簿	テキスト	
	基準点観測手簿	テキスト	
	基準点点検手簿	テキスト	
	機器検定手簿	テキスト	
	縦断観測手簿	テキスト	すべての路線が対象になります。 ^{※1}
	横断観測手簿	テキスト	すべての路線が対象になります。 ^{※2}
作業記録	作業記録一覧	テキスト	
	インプットリスト	テキスト	インデックス単位のファイルになります。 ^{※3}
条件データ	各種計算条件リスト	テキスト	確認用です。

^{※1} JEC CADiOS Ver5.4 未満で作成した「縦断観測手簿データ」はそのままでは抽出されません。必要な場合は、一度 CMBAS⁺の縦断手簿入力コマンドを開いてデータ形式を更新してから抽出してください。

^{※2} 「横断間接手簿」が抽出対象になります。(「横断観測手簿」は対象外です)

^{※3} 抽出可能なインプットリストはCMBAS⁺で対応済みの範囲になります。(CMBAS⁺で出力できるもののみ)

^{※4} 各データの抽出には、それぞれのデータを作成したプログラムがインストールされている必要があります。
GEO-NET の共有キャビネットからデータを抽出する場合など、実行するコンピュータの購入情報にご注意下さい。

□ バックアップデータ抽出仕様・制限

項目	仕様・制限事項
抽出可能なバックアップ形式	HD書き出し、書き出し、GXデータ交換形式 ^{※4}
抽出時必要ディスク容量(作業ドライブ)	抽出対象データ合計サイズ+100MB ^{※1 ※2 ※3}
キャビネット「書き出し形式」制限	OS/2 版形式は読み込めません
	継続メディアは読み込めません
CMBAS ⁺ 「GX データ交換形式」制限	作業データ形式以外は読み込めません
	継続メディアは読み込めません

^{※1} バックアップデータを指定して抽出する場合、一時的に、指定されたすべてのバックアップデータをCADiOS⁺作業ドライブへ展開します。

一度に多くのデータを抽出する場合は、その分のディスク容量が必要になりますのでご注意ください。
作業ドライブが OS ドライブの場合は、抽出対象データ合計サイズ+300MB の空き容量が必要です。

^{※2} 本プログラムが実行できるディスク容量を示しています。

Windows やその他アプリケーションに影響を及ぼさないよう、ディスクの残量には余裕を持って実施して下さい。

^{※3} バックアップ形式によっては圧縮等の方式が含まれる為、正確なサイズが取得できず、実行中にディスク容量が不足する場合があります。ディスク残量には余裕を持って実施して下さい。

^{※4} 本書に記載のCMBAS⁺データ抽出機能は、CADiOS⁺ Ver.1.90 以降のバージョンを対象としています。

- ◆ このプログラムおよび使用説明書は、著作権上、当社に無断で使用、複製することはできません。
- ◆ このプログラムおよび使用説明書の使用によって発生する直接・間接・特別・偶然または必然的な損益については、一切の責任を負いません。
- ◆ 本製品の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、当社にご連絡下さい。
- ◆ このプログラムおよび使用説明書の内容は、予告なしに変更することがあります。

発行:2014 年 10 月

株式会社 **ニコン・トリンプル**